

令和6年3月15日、宇治おうばくプラザきはだホールでは、12時30分からは京都大学化学研究所附属 元素科学国際研究センターの20周年を祝う記念シンポジウムが開催され、玉尾皓平名誉教授の文化勲章受章記念講演が行われました。そして、15時30分からは青山卓史教授と金光義彦教授の退職記念講演会が開催されました。

## 化学研究所附属 元素科学国際研究センター 20周年記念シンポジウム 玉尾皓平名誉教授 文化勲章受章記念講演



玉尾皓平 名誉教授と  
池田奈緒子さん(元秘書)

シンポジウム当日は、初代センター長であり、令和5年度に文化勲章を受章された玉尾皓平名誉教授を囲む昼食会が碧水舎にて行わ



れました。碧水舎には玉尾皓平名誉教授の受章記念展示コーナーが設置され、文化勲章のレプリカや記念動画が公開され、会場は祝賀ムードに包まれました。

シンポジウムでは、島川祐一センター長による開会の辞の後、元素科学国際研究センターの紹介講演「元素科学国際研究センター20年の歩みと将来へ向けて」が行われました。

そして、玉尾皓平名誉教授による文化勲章受章記念講演「よき出会いの人生80年を振り返って——「元素科学」が生まれた京大化研——」が行われました。歴代のセンター長や名誉教授をはじめ、多くの関係者が参加し、センターの歴史と実績を再確認すると同時に、今後の発展に向けて期待が高まる充実した会となりました。



## 青山卓史教授 金光義彦教授 退職記念講演会

会に先立ち、総務・教務委員長である筆者の挨拶の後、まず、青山卓史教授の退職記念講演会として、二木史朗教授による業績紹介に続いて、青山先生に「わが半生のどけからまし -DNAから始める分子生物学-」と題した退職記念講演をしていただきました。植物を主な研究対象としてDNAからアプローチすることの意義に関しての数々の優れた発見について、わかりやすく説明して下さいました。学生時代や留学時などにおける様々なエピソードを交えて話して下さい、研究成果の素晴らしさに感銘を受けるとともに、意外な側面も知るこ

ができて感慨深いものでもありました。金光義彦教授の退職記念講演会では、若宮淳志教授による業績紹介に続いて、金光先生に「良い研究とは何だろうか」と題した退職記念講演をしていただきました。研究に関するエピソードとともに、良い研究とは何か、良い研究をするにはどうすれば良いかについて話して下さいました。光ノ量子物性科学や関連分野において数々の優れた成果をあげ、多くの大型研究費を獲得し、化研内での共同研究も積極的に推進してきた金光先生のご講演は、説得力にあふれた感銘の深いもの

でありました。その後、青山教授、金光教授の退職を記念した写真撮影が行われました。

退職記念講演会後、コロナ禍後初となる退職記念祝賀会が宇治おうばくプラザハイブリッドスペースにて開催されました。大宮寛久教授の司会のもと、島川祐一教授のご挨拶の後、左右田健次名誉教授のご発声で乾杯となりました。その後、歓談が続き、最後に青山先生と金光先生からお言葉をいただき、盛況のうちにお開きとなりました。

令和5年度 総務・教務委員長 阿久津達也



青山卓史 教授と  
寺本日出美さん(青山研究室秘書)

金光義彦 教授と  
平井圭子さん(若宮研究室秘書)

